

# 2024（令和6）年度 北海道大学薬学部同窓会 幹事会

日時：2024（令和6）年7月27日（土）14：00～

場所：薬学部1階 第二講義室

次第：

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 【報告】2023（令和5）年度活動報告（p2～4）
4. 【報告】2023（令和5）年度会計報告（別紙：会計関係資料）
5. 【報告】北海道大学校友会エルムの状況
6. 【議題】会則改定について（p4～5）
7. 【議題】2024（令和6）年度の役員体制と役員のローテーションについて（p5～7、別紙）
8. 【議題】正会員の希望者について（p7）
9. 【議題】2024（令和6）年度活動方針案（p7～8）
10. 【議題】2024（令和6）年度予算案（別紙：会計関係資料）
11. 【議題】その他

## 2023（令和5年）年度 同窓会活動報告

1. 薬学部同窓会常任幹事会を開催した（2023年6月1日）。
2. 薬学部同窓会幹事会を薬学部第二講義室にて開催した（2023年7月8日）。
3. 東京同窓会への派遣（2023年7月1日 松田彰 同窓会会長）。
4. 「先輩と語る」講演会の共催（p3）。
5. 北海道大学薬学部生涯教育特別講座の開催（p3～4）。  
※なお、ホームカミングデー開催日の北大薬学部同窓会交流会は実施せず。
6. 同窓会の広報活動  
ホームページ・Facebookの更新。同窓会のお知らせメール配信。  
※ホームページ、Facebookに関して何かご意見、ご要望があればお願いします。
7. 「芳香 SCIENCE」「芳香 HISTORY」「芳香 ESSAY」「芳香 REPORT」「芳香 LIBRARY」等のホームページへの掲載。
8. 学位記ホルダー・記念品の寄贈。  
今年も例年同様、同窓会で学位記ホルダーを作製し、卒業・修了生に寄贈。  
博士課程修了者には記念品を寄贈。
9. 卒業祝賀会への援助。  
学位記授与式にお祝い花を寄贈。  
※なお、2023年度より卒業祝賀会は実施しないこととなった。
10. 同窓会誌「芳香」第73号を発行。

## 「先輩と語る」講演会

本講演会は、社会のいろいろな分野で活躍されている先輩（卒業生・同窓生）を講師としてお招きし、北海道大学薬学部の教育・研究に対して提言をいただくとともに、後輩を鼓舞・激励していただく目的で企画されたものです。薬学概論の講義の一環として開催され、参加者は主に2年次学生です。本年度は以下のように3回の講演会が開催されました。ご講演いただいた皆様、並びにご支援くださった同窓会に感謝申し上げます。

### 第53回

開催日 令和5年5月29日（月）

講師 齋藤 佳敬 氏（48期生、北海道科学大学 教授）

演題 「薬剤師から教員へ～新しい視点での患者アプローチ～」

### 第54回

開催日 令和5年6月5日（月）

講師 石田 睦 氏（31期生、札幌市衛生研究所）

演題 「札幌市役所で働いてみた～バラエティに富む市役所職員のオシゴト」

### 第55回

開催日 令和5年6月12日（月）

講師 藤室 雅弘 氏（35期生、京都薬科大学 教授）

演題 「プロテアソーム研究からウイルス研究への展開」

## 「第24回生涯教育特別講座」

薬学部生涯教育特別講座は、北大薬学部同窓生を含む医療関係及び関連領域の仕事に従事される方を対象に、医療における諸問題について最新の情報を提供することを目的として実施されています。

令和5年7月28日（金）、薬学部臨床薬学講義室において夏季講演会が開催され、薬局や病院などの薬剤師の方々をはじめ、薬学部学生や教員等68名が参加しました。

本講演では杏林大学医学部 糖尿病・内分泌・代謝内科学分野 講師／医学部付属病院 外来医長の近藤琢磨先生に「糖尿病の科学と実践－最近の話題」のタイトルでお話いただきました。糖尿病に関する幅広い内容について、病態から最新の治療、さらに社会的な活動まで網羅的に取り上げ、具体的なデータや実際の取り組みに触れながら大変わかりやすく解説してくださいました。会場からはたくさんの質問が寄せられ、活発な議論が行われました。「今回の講演でますます糖尿病の勉強に興味をわきました」「最新の情報や意外な内容が良い学びとなりました」「糖尿病の基礎から応用まで幅広く解説いただき、とても有意義でした」など多くの意見が寄せられました。

秋季講演会は令和5年9月30日(土)、薬学部臨床薬学講義室において北海道大学ホームカミングデーの学部主催行事を兼ねて開催され、89名が参加しました。

はじめに北海道大学病院 消化器内科 助教の原田一顕先生による「最新ガイドラインからみる消化管がん化学療法」の講演があり、免疫チェックポイント阻害剤による治療や免疫関連有害事象について、具体的なデータに触れながら大変わかりやすく解説いただきました。続いて国立病院機構北海道がんセンター 呼吸器内科 医長の朝比奈肇先生に「最新の肺がん薬物療法」のタイトルで、肺がんにおける薬物療法について、実臨床から研究まで、最新の報告を交えながらご講演をいただきました。聴講者からは様々な質問が寄せられ、先生方は一つ一つに丁寧に回答くださいました。「免疫関連有害事象の管理の重要性を知りました」「複雑化する化学療法についてまとまっておりととても分かりやすかったです」「免疫チェックポイント阻害剤治療の有用性を具体的な数値で知ることができ、非常に勉強になりました」など多くの意見が寄せられました。

また、今年度は夏季・秋季講演会ともにオンデマンドでの配信も試み、多くの方に視聴いただき好評を博しました。

本講座の開催にあたり同窓会からのご援助をいただきました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

小林 正紀  
(臨床薬学教育研究センター)

## 会則改定について

(参考) 会則改定に関する条項

第43条 この会則の変更には幹事会において出席者総数の2/3以上の同意を必要とする。

第44条 この会則に定めるものの他、本会の運営に関して必要な事項は幹事会の議を経て、会長が別に定める。

①役員の任期期間の明文化。いつまでが不明確だったため。

第18条 役員の任期は2年とし、幹事会の開催日までとする。再任は妨げない。ただし、会長の任期は2期(4年)までとする。なお、補欠による役員の任期は、前任者の残任期間とする。

②幹事の出席率を上げるため、正会員でかつ北大薬学部の教職員は推薦する。

第13条 幹事は、期ごとに、各期より選出された正会員、正会員の北海道大学薬学部の教職員または会長が推薦し幹事会で承認された正会員で、各期2名(ただし12期以降は3名、53期以降は薬科学科卒業生より2名、薬学科卒業生より2名とする)とする。

③特別会員の会費の扱いについて。

特別会員の方で、正会員と同様に会費を払いたいという申し出があり、常任幹事会で事前審議し、特別

会員の者が正会員となることを希望する場合、幹事会で認められれば正会員（会費納入義務を負う）となることができることを追記。

第7条 本会は、正会員と特別会員で組織する。

第8条 正会員は、北海道大学医学部薬学科および薬学部の卒業生、同大学大学院薬学研究科修了生、同大学大学院生命科学院生命科学専攻生命医薬科学コース修了生および臨床薬学専攻修了生とする。

第9条 特別会員は、北海道大学医学部薬学科と薬学部の旧教職員、北海道大学薬学部（薬学研究院）に在籍した研究生および本会の目的に賛同し、幹事会が承認した者とする。ただし、特別会員の者が正会員となることを希望する場合、幹事会で認められれば正会員（会費納入義務を負う）となることができる。

第10条 正会員は年会費 2,000 円を納めるものとする。特別会員は会費の納入を要しない。また、北海道大学薬学部卒業生で本学および他大学の大学院等に在学中の正会員も会費の納入を免除するものとする。

（参考）現行の特別会員の扱いの経緯

過去に薬学部に在籍した方々（他大学出身の旧職員や研究生）は正会員の定義では会員に含まれないことになるので、多くの同窓会がそうしているように、これらの方々は特別会員として定義した。ただし、特別会員の方々は他大学の（会費納入義務のある）同窓会会員でもあるので、二重の会費負担にならないよう、「特別会員は会費の納入を要しない」とし、在学中の院生の会費免除と同じ条項で明記した。したがって、現行の会則では特別会員には会費請求は必要ない。

※現在の特別会員（他大学出身の旧職員や研究生）は 210 名（死去、宛先不明を除く）

## 2024（令和6）年度の役員体制について

15期 松田 彰：会長（任期満了）から相談役へ

22期 井関 健：副会長から会長へ

23期 周東 智：副会長退任

26期 中村蜂夫：副会長退任。

20期 澤田 均：副会長へ

31期 佐藤美洋：副会長へ

※副会長は次期会長の井関先生が臨床系なので、それ以外の分野で在職中の幹事ということで、佐藤美洋先生を選出。

※常任幹事会で副会長の候補に挙がった札幌市立病院の後藤仁和さん（30期）は多忙のためご辞退されました。

(参考) 会則より

第 14 条 会長は、幹事会において、幹事の互選により選任する。

第 15 条 副会長および幹事長は、会長が幹事の中から指名し、幹事会の承認を得る。ただし、副会長の少なくとも 1 名は北海道大学薬学部 に在職中の幹事とする。

第 16 条 常任幹事は、幹事の中から会長が推薦し、幹事会において決定する。

45 期 小林 正紀：副幹事長から幹事長へ

45 期 室本 竜太：常任幹事から副幹事長へ

43 期 大西 英博：幹事長（2022～2023）から副幹事長へ（幹事長補佐）。

49 期 大野 悠介：異動により常任幹事退任

46 期 山田 勇磨：会計へ ※会計の任期終了後常任幹事へ

52 期 佐藤 悠介：芳香委員へ

幹事退任（追跡調査後もなお宛先不明ため役員リストより削除）

54 期 柿田 浩輔

56 期 仲谷 岳志

幹事退任（死亡のため）

1 期・顧問 清水 良夫

幹事交代

20 期 吉田 晶子さんから澤田 均さんへ

（澤田さんの帰札により、同期の吉田さんによる推薦。本人了承済）

学生幹事

67 期 阿部丈太郎、阿部健太郎、浅野秀峰、長谷川 順

幹事 宛先不明（今後追跡調査後、宛先不明の場合は役員リストより削除する）

64 期 藤谷 志暉

幹事追加

薬学部の卒業生の教職員は幹事に推薦する。→会則改正により。

※別紙：同窓会役員・幹事名簿 参照。

## 役員のリローテーションについて

北大薬学部卒業生の教員の異動により役員のリローテーションを更新いたしました。  
常任幹事会后、生化学研究室の城島啓佑先生（62期）を追加しました。

※新規役員候補者やリローテーションについて何かございましたらお願いします。

※別紙：役員のリローテーション 参照。

## 正会員の希望者について

下記の特別会員が正会員となることを希望しています。

瀬谷 司

昭和 54～59 年に衛生化学研究室で 5 年間研究生をして学位（薬学博士）を取得。当時教室は  
小山次郎教授で、長澤先生が指導教官。現在、青森大学 ねぶた健康研究所勤務。2021 年、2023  
年寄付あり。

## 2024（令和6）年度活動方針案について

1. 会員相互の交流と親睦
  - ・ 薬学部同窓会幹事会（2024年7月27日（土）14時より）
  - ・ 関西同窓会（2024年5月26日）へ派遣（常任幹事 菅原満先生）、東京同窓会（2024年6月29日）の派遣はせず。
2. 同窓会誌「芳香」第74号を発行
3. 「芳香SCIENCE」「芳香HISTORY」「芳香ESSAY」「芳香REPORT」「芳香LIBRARY」のホームページへの掲載。
4. 同窓会の広報活動  
ホームページおよびFacebookの運用と情報提供
5. 北海道大学薬学部に対する教育研究活動の後援
  - ・ 生涯教育特別講座を薬学部と共催

- ・ 「先輩と語る」講演会を共催：5/27（月）、6/4（火）、6/10（月）実施
  - ・ 学位記ホルダーの寄贈
  - ・ 卒業祝賀会への援助
6. ホームカミングデー開催日の北大薬学部同窓会交流会は実施しない。
  7. その他、幹事会が必要と認めた事業を行う